

大学病院



- ・ 当院の医師がベストドクターズに選出
- ・ 岐阜大学医学部附属病院に「県脳卒中・心臓病等総合支援センター」を開設
- ・ 「健康ハートの日2024 in GIFU」をじゅうろくプラザで開催
- ・ 「遺伝性がん当事者からの手紙」写真パネル展を開催
- ・ 令和6年度「患者紹介・受入医療機関への感謝状」を贈呈
- ・ 古家琢也教授がロボット外科学会のRobo-Doc Pilot 国際A級を取得
- ・ クリスマスイルミネーション点灯式を開催
- ・ 令和6年度看護師特定行為研修修了式を執行

当院の医師がベストドクターズに選出

【概要】

下記の医師がベストドクターズ社から“The Best Doctors in Japan 2024-2025”に選出されました。

脳神経内科	教授	下畑	享良
脳神経外科	教授	出雲	剛
産婦人科	教授	磯部	真倫
小児科	教授	大西	秀典
	臨床准教授	小関	道夫
放射線科	教授	松尾	政之

Best Doctorsは、ベストドクターズ社が医師に「あなた自身またはあなたの大切な人が特定の専門分野の医師を必要とした場合、誰を選びますか？」という質問をし、医師同士による相互評価調査（ピアレビュー調査）で選出されます。

ベストドクターズ社は米国に拠点を置き、世界各国で病状に応じた適切な治療やセカンドオピニオン取得のための名医紹介などを行っています。日本でベストドクターズの医師として認定されている医師は約7100名です（2024年6月現在）。ベストドクターズ社は医師の生涯教育単位（CME）を付与できる機関として、生涯教育認定機構から認定されています。

岐阜大学医学部附属病院に 「県脳卒中・心臓病等総合支援センター」を開設

【概要】

脳卒中や心臓病は、ある日突然発症することがほとんどです。多くの患者さんやそのご家族にとっては、心の準備が何もできていない状況でいきなり治療が始まる、そして多くの患者さんが後遺症も含めた何らかの症状に悩まされることとなります。これまで普通に営んでいた活動に支障が生じることも多く、それに伴う不安を抱えて生活されている方も決して少なくないと思います。

本センターのミッションは、これらの不安を抱える患者さんとそのご家族に対して、その解決の糸口となる適切な情報を提供することにあります。具体的には、病気の再発予防・リハビリテーションや緩和ケアサービス・治療とお仕事両立や就労に関わる支援・小児期の循環器病患者さんへの支援などを行います。

また、このような患者さんおよびそのご家族の支援を円滑に進めるためには、かかりつけ医をはじめとした地域の医療機関との情報交換と連携が必須となります。

岐阜大学医学部附属病院は、令和6年度に上記のような脳卒中・心臓病などの患者さんへの支援を総合的に行うセンターを開設する施設として、岐阜県および国から選定されました。

脳卒中そして心臓病の患者さんとそのご家族が、安心してより良い生活をお送りいただけるように、当センターが中心となって『オール岐阜』でこの事業に取り組んでいくことが出来ればと願います。



【メディア掲載】

掲載日	新聞社名	内容
2024/7/30	岐阜	循環器病の支援強化 県、岐阜大病院に相談拠点 ～ 「県脳卒中・心臓病等総合支援センター」 出雲剛センター長～

「健康ハートの日2024 in GIFU」を じゅうろくプラザで開催

【概要】

2024年8月10日（土）、岐阜県脳卒中・心臓病等総合支援センター主催 「健康ハートの日2024 in GIFU」を、じゅうろくプラザにて開催しました。

101名の方にご参加いただき、「分かりやすかった」「さらに詳しく聞きたかった」など、ご好評いただきました。

【実施内容】

○講演「ここまで進んだ狭心症の診断と治療」

講師：岐阜大学医学部附属病院 循環器内科 教授 大倉 宏之先生

○デモンストレーション「命を救おう！みんなで学ぶ心肺蘇生講座」

「チームで行う、心臓カテーテル治療最前線」

○座談会「急性心筋梗塞にならないために、なってしまったら」

講師：岐阜大学医学部附属病院 大倉 宏之先生

岐阜ハートセンター

松尾 仁司先生

メディカルスタッフ他



【メディア掲載】

掲載日	新聞社名	内容
2024/8/11	岐阜	心臓病の治療法 県内病院が紹介 岐阜市でイベント～医学部附属病院循環器内科 成瀬元気 医師～

「遺伝性がん当事者からの手紙」写真パネル展を開催

【概要】

2024年9月28日（土）から10月18日（金）までの期間、「遺伝性がん当事者からの手紙」写真パネル展を開催いたします。

この写真パネル展は、遺伝性乳がん卵巣がん（HBOC）当事者の声を広く社会に伝えることにより、社会啓発、遺伝医療への貢献、当事者とご家族のサポート、エール（応援）を送ることを目的に、遺伝性乳がん卵巣がん（HBOC）当事者会クラヴィスアルクスと東海地区の遺伝カウンセラー、当院のゲノム疾患・遺伝子診療センターが共催して行います。

今回のパネル展は、昨年度から巡回箇所が増え、今年度は東海地方9ヶ所を巡回しています。患者さんやご家族、地域の皆様のご来場をお待ちしております。

「遺伝性がん当事者からの手紙」写真パネル展

日時：2024年9月28日（土）～10月18日（金）8時30分～17時00分

場所：岐阜大学医学部附属病院 1階イベントコーナー

主催：岐阜大学医学部附属病院 ゲノム疾患・遺伝子診療センター

共催：特定非営利活動法人クラヴィスアルクス

* 遺伝性乳がん卵巣がん（HBOC）とは生まれつきBRCA1もしくはBRCA2遺伝子のいずれかの変化が原因で乳がん、卵巣がん、膵がん、前立腺がんなどが発症しやすくなる体質のひとつです。遺伝子の変化の有無を調べて確定診断されれば、がんの予防や早期発見のための対策がとれますが、一方で自分自身や家族への影響を心配し心理的不安を抱えることもあります。

「遺伝性がん当事者からの手紙」写真パネル展

東海りしー開催

☆どなたでもお気軽にお立ち寄りください。

2024年	7月 1日(土)～	7月26日(金)	静岡県立総合病院 〒420-8527 静岡市駿河区南区4-7-227番1号
	7月29日(月)～	8月30日(金)	松波総合病院 〒501-8062 岐阜県羽島郡笠松町代田185-1
	8月30日(金)～	9月19日(木)	名古屋市立大学病院 〒460-0802 名古屋市瑞穂区瑞穂町1-1
	9月28日(土)～	10月18日(金)	岐阜大学医学部附属病院 〒500-1194 岐阜県岐阜市南1-1-1
	10月24日(木)～	11月13日(水)	愛知県がんセンター 〒464-0881 名古屋市中区千代田1-1-1
	11月18日(月)～	11月29日(金)	浜松医科大学医学部附属病院 〒431-3192 浜松市中区東浜山1-1-200番1号
	12月 4日(水)～	12月25日(木)	藤田医科大学病院 〒470-1192 愛知県豊田市豊明町南1-1-58
2025年	1月 6日(月)～	1月24日(金)	三重大学医学部附属病院 〒514-8507 三重県津市江井町2-174
	2月 3日(月)～	2月21日(金)	岐阜県総合医療センター 〒500-8717 岐阜市野一色4-6-1

協力：東海遺伝カウンセリング研究会、一般社団法人日本遺伝カウンセリング学会、特定非営利活動法人クラヴィスアルクス

令和6年度「患者紹介・受入医療機関への感謝状」を贈呈

【概要】

岐阜大学病院では例年、前年度の実績より本院に多数の患者を紹介・受け入れていただいた上位の医療機関へ直接訪問しています。感謝とさらなる連携のお願いの意を込めて、岐阜大学病院 秋山病院長、総合患者サポートセンター副センター長より各病院、各診療所の病院長、理事長、院長へ感謝状の贈呈を行いました。



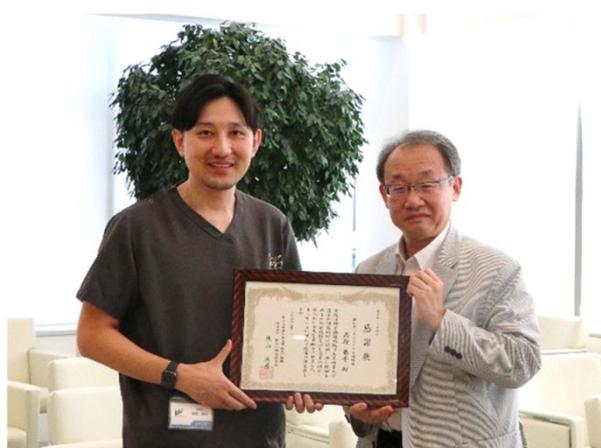
操健康クリニック（右）操潤 理事長
（中）清王 英子 副院長



あいレディースクリニック 坂口 英樹 院長



（右）松波総合病院 松波病院長
（左）堀川副センター長



（左）操レディスホスピタル 高野病院長
（右）堀川副センター長



（中央右）朝日大学病院 日下病院長
（中央左）堀川副センター長

古家琢也教授がロボット外科学会の Robo-Doc Pilot 国際A級を取得

【概要】

泌尿器科長 古家琢也 教授がロボット外科学会のRobo-Doc Pilot 国際A級を取得しました。

国際A級の取得者は、全診療科において県内初となります。

Robo-Doc Pilotは日本ロボット外科学会により認定される専門医資格です。国際A級の取得には、豊富な執刀症例数やプロクター（他施設での手術指導）経験に加え、ロボット関連の英文論文が必要とされています。

（申請クラス）

ポイント数が下記のいずれかを満たす者

- ・ 国際S級 3000ポイント以上取得者
- ・ 国際A級 1000ポイント以上取得者
- ・ 国際B級 500ポイント以上取得者
- ・ 国内A級 300ポイント以上取得者
- ・ 国内B級 30ポイント以上取得者

（ポイント算出方法）

Robo Doc certificateポイント算出方法

- ・ 計算式：症例数× 術式係数× 役割係数

詳しくは、日本ロボット外科学会ホームページ（外部リンク）をご覧ください
<https://j-robo.or.jp/senmon/>

【メディア掲載】

掲載日	新聞社名	内容
2025/1/12	中日	古家医師 県内初の取得 ロボット外科手術「国際A級」認定 迅速でより正確「患者のために」 ～医学部附属病院泌尿器科 古家琢也医師～

クリスマスイルミネーション点灯式を開催

【概要】

令和6年11月20日（水）、病院1階イベントコーナーにおいて、クリスマスイルミネーションの点灯式を開催しました。

イベントコーナーには高さ3.5メートルのクリスマスツリー、また中庭には可愛らしいサンタクロースや雪だるまの人形を設置し、それらにイルミネーションを施すことで、訪れる皆さんに楽しんでいただける趣向としています。

点灯式では、病院長の挨拶に続き、さわやかサービス推進室長の音頭により会場に集まったみなさん全員でカウントダウンを行い、イルミネーションが一斉に点灯されました。

続いて"師弟コンビ 紅い花音♪"のお二人を迎え、ピアノ伴奏による歌とおしゃべりのコンサートを開催しました。軽快なトークを織り交ぜた愉快的ステージに、つめかけた皆さんは十分に満足された様子でした。

イルミネーションは来年1月中旬ごろまでお楽しみいただけますので、ぜひご覧ください。



令和6年度看護師特定行為研修修了式を執行

【概要】

3月10日（月）、看護師特定行為研修修了式を開催しました。

本研修の第5期生として修了した看護師15名に対し、秋山病院長から修了証書が手渡されました。

秋山病院長は「ぜひ実地でこの研修の成果を遺憾なく発揮してほしい」、土井特定行為研修センター長は「医師のタスクシフトは喫緊の問題であり、皆さんの活躍が必要不可欠となる」と祝辞を述べました。

研修生代表は「研修で得た知識・技術を用いて、手術部看護師・及び特定看護師として、手術看護の質向上に努めます。また、医師の働き方改革の一環として、麻酔管理補助業務に積極的に携わり、医師のタスクシフト・シェアに貢献できるように頑張りたいと思います。」と抱負を語りました。

本院は今後も、社会に貢献できる自律した看護師を育成することに努めます。



研修生代表挨拶



記念撮影



病院長祝辞



センター長祝辞